

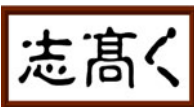


『函西さつぽろ』

つとじヶ丘同窓会札幌支部会報

第6号

2009年4月30日
発行部数：2000部
発行責任者：事務局
編集長：伊藤祐輔



理想を求め、
真理を探究し、
情操豊かに生き

二十一年度 つとじヶ丘同窓会札幌支部総会に向
けて

札幌支部長 林 寿正



皆様にかかれましては、益々ご健勝にご活躍のこと
とお慶び申し上げます。

就任三年目を迎えた昨年の同窓会、お陰さまで六十
五名もの参加者があり、幹事一同ホッとしていること
ろでございます。この度は、場所を第一ホテルに移し、
前年の役員改選時に新役員の任命の一任を頂きました
ので、既に承認いただいた相談役二名・幹事一名・事
務局長を含め、新役員が当日までに十名がご理解・ご
協力を頂き総勢十五名で準備を進めて参りました。

一昨年から様々な改革を推し進めてきた結果、創立
百周年の後に相応しい体制になりつつあります。しか
し、まだまだ皆様のご理解とご協力なくしては先へは
進むことが出来ません。皆様の消息など、名簿整理、
正確な情報提供・収集・発信、事務局の簡略化、各年
代別の世話役登用など課題が山積しております。

そこで現在、さらに多くの幹事役の打診、ご案内等の
為の経費の捻出、賛助金広告協力要請などを計画して
おります。中でもホームページの開設のお陰で（三十
八回生竹内さんのご尽力）いろいろな展開が容易にな
ってきました。皆様の情報の収集・発信そして会報と
の連携で更に充実したものになっていく予定ござい
ます。最近の社会や経済情勢の大変厳しく不透明な時
代だからこそ、ますます人間の原点である多くの共通
仲間（同窓生）と触れ合えることは、見方を変えれば、
大変な財産でありますし、この貴重なつながりを活か
さないことは、本当にもつたいに思っています。
皆様には、それぞれ素晴らしい人生の積み重ね・人生
の歴史があり、その良さに触れ、触発され、気づかさ
れることは、今後の人生に果てしない広がりが出てき
ます。どうぞ、素敵な未来づくりのためのエッセンス
として大事にしていきたいでしょう！

世の中には、幸せの方程式と言うものがあるそうで、
言われてみればとても当たり前の事ですが、「足るを
知り、少欲なれば必然的に幸せになれる」とあります。
少欲の中にも、多くの人たちと触れ合い、喜びや楽し
みは皆様で味わい、感動し、悲しみや苦勞は、これま
た皆様との語らいで半分に分けていく・・・こんな異
業種交流的、一期一会的同窓会を今後とも是非とも宜
しくお願い致します。

今年度の総会は、更に盛り上がることと思えます。
とても気楽で楽しみたいだけの同窓会ですので多くの
皆様にご参加いただけますよう、こころよりお待ち申
し上げます。

（西高二十一回生）

平成 20 年度 つじヶ丘同窓会札幌支部 定期総会&懇親会報告

10月10日(金)18:30~札幌第一ホテル(札幌市中央区)にて開催。西高対馬校長、本部四津副会長、恩師小原先生、東京支部高橋事務局長をご来賓にお迎えし、高女39回生~西高38回生まで65名の同窓生が集まりました。東京支部からは堀内さんもお出席いただきました。総会では、新役員紹介・会則一部改定・会計及び監査報告があり皆さんの承認を頂きました。

懇親会は、小原先生のご発声で始まり、5回生伊藤さんが仲間とタンゴ演奏を披露、また、急遽、17回生山口さんがシャンソンを歌い皆さん感激しておりました。また、会場内に設けた展示コーナーでは、懐かしい写真や函館の話題、先輩の著書等を皆さん席を立ち興味深く見ておられました。なかでも、17回生同期会幹事で函館在住の浦袖さんにご寄贈いただいた「西高新聞」は、みなさんご自分の年代を探し見入っていたようです。そして、応援歌 No2です・・・東京支部高橋さんの御指導により、10回生長谷部さん、24回生堀田さんが、エールきりに挑戦。始まる前、2~3分の打ち合わせだけでしたが、お二人とも見事な応援団ぶりで、来年も引き続きお引き受けいただけることになりました。最後に、高女と西高の校歌を歌い、10回生珊瑚会札幌支部長花田さんのご挨拶でお開きです。2次会参加者も多く、ほんとうに楽しい一夜でした。平成 21 年度総会は、10月9日(金)です。どうぞ今からスケジュールに入れておいて下さい。お会いできるのを楽しみにしております。

菩提寺孝幸(西高33回生)



函館の坂

馬嶋 元子

函館を離れて早や五十年余りが過ぎた。いま函館の坂について考えると、あれもこれもとの思いばかりが先走り、こんなにも多くの思い出があつたのかと驚いている。

船見町五十七番地が

三十歳まで過ごした私の家で、基坂で電車を降り富岡町、天神町、船見町へと坂を三つ登る。大町郵便局テニスコート、函病、英国領事館、渡島支庁、税関の官舎、そのうえの方には盲啞院の建物があつた。税関長宅の前を通り過ぎるとまた坂で、狭く石ころだらけだつた。それを登ると一番上がやつと我が家だつた。

今でも忘れられないのはオレンジ色に輝く夕日を受け静かに函館港を出航し、その数時間後に台風の犠牲になつた洞爺丸の姿である。冬は盲啞院横の坂から函病のジャバラトター堀まで一気にソリやスキーで滑り降りたのも楽しい坂の思い出のひとつである。

高女の坂もまた私の人間形成には欠かせない大事な存在である。戦後の学制改革で六年間昇降り降りした。朝は勇み、夕べにはうつろなる心と専攻科担任の広川先生が詠まれた坂、私達は朝は大急ぎ、帰りは友人とのおしゃべりの楽しい坂だつた。終戦の翌日、身体中の力が一度に抜け、むなしい気持ちで何はともあれ学校に！との思いで登つた坂。シーンと静まり返つた校内の地理教室で友人と二人で

なぜかぐつすりとお眠つたことなどは、戦前戦後を生きてきた我々の年代だけの経験である。何気なく降り降りした函館の坂がどれ程多くの思い出を残し、私の函館時代の人生をすべて知っていてくれる。故郷とはこんなにも温かくなつかしいものかと改めて思い知ることが出来た。

(高女三十九回生)

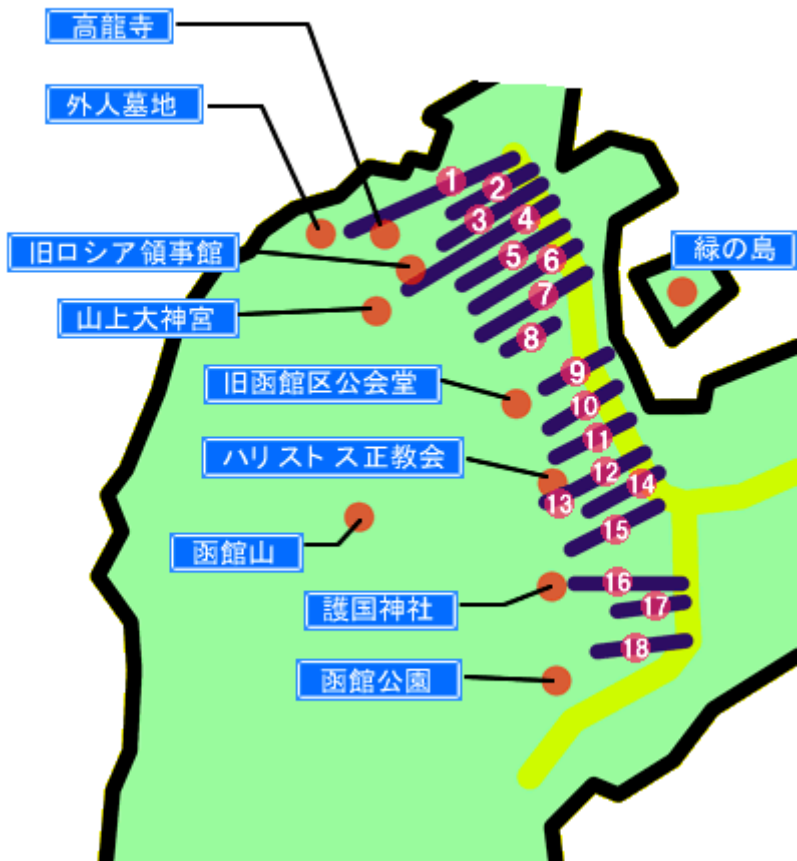


坂の街「函館」

なつかしい坂、通学の思い出：

今回は、高女三十九回生馬嶋さんが寄稿下さいました。皆さんの坂にまつわる思い出をお聞かせ下さい。

- 1 魚見坂
- 2 船見坂
- 3 千歳坂
- 4 幸坂
- 5 姿見坂
- 6 常磐坂
- 7 弥生坂
- 8 東坂
- 9 基坂
- 10 日和坂
- 11 八幡坂
- 12 大三坂
- 13 チャチャ登り
- 14 二十間坂
- 15 南部坂
- 16 護国神社坂
- 17 あさり坂
- 18 青柳坂



「私のお気に入り」コーナーの開設について

つつじヶ丘同窓会札幌支部会報の性格を、いわゆる広報誌（連絡事項が主体）からミニコミ誌（会員相互のコミュニケーションの手段）へと変えていき、徐々に投稿形式を取り入れるようにしたいとおもいます。

さらに、会員全般の関心を高めるため「私のお気に入り」コーナーを設け、自分の好きな①本、②映画（TV、タレント）③歌（演歌、ポップス等）、④その他をそれぞれ三つ以内と⑤コメントがあれば書いて貰うという趣向です。テーマは共通ですし、このコーナーを通して自己紹介を兼ねることも出来ます。また自分と似ているタイプの方を知る機会も生まれ新しい繋がりや輪が広がり、同窓会への参加のきっかけになれば・・・とひそかに期待している次第です。定着するまでの間、掲載依頼は今年から始まる予定の裁判員制度に倣って、会員の中からランダムに5人程度を選択し連絡を差し上げたいと思います。会報送付の際に返信用を同封いたしますのでよろしくお願い致します。今回は4名の「私のお気に入り」を載せました。（編集長）

『 私のお気に入り 』

好きな、①本、②映画（TV、タレント）③歌、④その他（好きなもの）をご紹介します。⑤コメント

早藤多賀子（13回生）

- ①内田康夫「浅見光彦シリーズ」、健康本、料理本
- ②「ローマの休日」、「ウエストサイドストーリー」、ヘップバーン・木村拓哉・水谷豊（テレビで「相棒」が一番楽しみにしていて再放送も見逃しません）
- ③岸洋子「酔いしれて」、布施明（何でも。彼の声にしばれます）
- ④手編み大好き…バッグ・マフラー、帽子、編みぐるみ等小物を編んで友達に差し上げ喜んでいただくのが何よりの幸せです。

伊藤祐輔（5回生）

- ①スタインベック「二十日鼠と人間」・島崎藤村「夜明け前」・マッキヤモン「魔女は夜囁く」
- ②ゲーリー・クーパー「真昼の決闘」、「ウエストサイドストーリー」、ソフィア・ローレン「ひまわり」
- ③中島みゆき「悪女」、研なおこ「あばよ」、つのだ・ひろ「メリー・ジェーン」
- ⑤会報の編集担当をしています。親しみやすい紙面づくりにご協力をお願いします。

村山久美子（23回生）

- ①西原理恵子「毎日かあさん」、高村薫「新リア王」
- ②ジャックニコルソン、オダギリジョー
- ③中島みゆき「宙船」

菩提寺孝幸（33回生）

- ①司馬遼太郎、和久俊三、内田康夫
 - ③河島えいご、コブクロ、スピッツ
 - ④北海道日本ハムファイターズを応援しています。
 - ⑤一緒に札幌ドームに応援に行きませんか！
- 連絡先：takayuki-bodaiji-abt@dj.pdx.ne.jp

編集後記：函館の故カール・レーモンさんの生涯を書いた本が児童書として出版されました。私のレーモンさんの思い出は戦争中と敗戦直後のことで、私がまだ小学校の頃でした。時折、会所町のお宅の近くでレーモンさんの姿を拝見しましたし、当時、女学生くらいだった美しいお嬢さんの姿を見たこともあります。私は勝手に「マーガレットさん」と名付けていました。しかし、当時の大人たちが「レーモンさんの家に近づくとダメだよ」と子ども達に教えていたのを覚えています。戦争がこのような風潮を生み出したのです。このことは恐らくこの本にも書かれていると思いますが、レーモンさん一家や親しい人たちに大きな苦しみと悲しみを与えたことを想像すると申し訳ない気持ちでいっぱいです。この本の作者は残念ながら函館出身の方ではないようです。作者には申し訳ありませんが、カール・レーモンさんについて函館のしかも西高出身の人が書いてくれたらな～・・・と文才なき凡才は嘆くのみです。（伊藤祐輔）

つつじヶ丘同窓会札幌支部は、皆様の会費で運営されております。
年会費は1500円です。口座への振込みにてお願いします。

<振込先>
北洋銀行大通支店（普）0537344
つつじヶ丘同窓会札幌支部

つつじヶ丘同窓会 函館市元町7-17 函館西高等学校内
HP <http://www14.plala.or.jp/h-oku190622/nisi-dousokai1.htm>

札幌支部

（支部長）札幌市豊平区平岸2条6丁目 011-831-4622

（H.P） <http://www.tsutsujigaoka.net/>

（mail） nishiko@tsutsujigaoka.net